

◆基調講演

【質問】人と人とのつながりや、以前と同水準まで持ち直すことは可能とお考えでしょうか？

【回答】「昔ながらの地域のつながり、人と人との関係性を目指すのは、当時の価値観や社会環境と異なることもあり、難しいように思います。

ただ機能的なつながり、この時間だったら動ける、寄付ならできる、物の提供なら、こういう活動なら参加したい、等、機能ごとのつながりを作ることが一方でシステム化できれば良いかと思えます。

以前のような、会合に行けばいつも同じメンバー、という仕組みでない若い人も含めたつながりを作ることが、持続可能性を考えたときに求められることになるかと思えます。

このような取組に魔法のようなことはありませんので、地域の実情に応じた仕組みを、皆さんの意見で決めていただければと思います。」

◆住民活動発表会

①八川ふれあいサロン

【質問】会場まで遠い方や、足腰の悪い方はどのように対応されていますか？

【回答】天気の良いときは徒歩や自転車などそれぞれで公民館まで来られます。少し不安な方は近くの方が一緒に付き添って会場まで来られます。雨天などの際は自動車で迎えに行くなど臨機応変に対応しています。

【質問】開催にあたりどのようにチラシ、広報されたのですか？

【回答】月2回の定期開催については殆どが口コミで広がっています。また、イベントなどは別にチラシを作成し、手渡ししながら声をかけています。

②南道穂ふれあい会

【質問】話し合いを開催するにあたって、コーディネーターに連絡したのは、どのような経緯からですか？

【回答】寿連合会支部会長から区役員会へ呼びかけがあり、令和3年の住民活動発表会参加後、区長から生活支援コーディネーターに相談連絡をおこないました。

【質問】ふれあい会のメンバーは何人ぐらいいるのでしょうか？

【回答】13名で構成されています。(区役員・寿連合会支部役員・民生委員・生活支援コーディネーター)

③東和苑ささえ愛会

【質問】正会員と賛助会員の違いは？

【回答】ボランティアで活動する人が、正会員。活動を利用される方が、賛助会員に登録されます。

【質問】移動支援は東和苑の住民が対象ですか？

【回答】会の規約では対象者は「東和苑に居住され、自治会の会員であること」を条件にしています

【質問】外出支援をできる人のスキルチェックは？

【回答】特にありません。ボランティア精神で、安全運転で高齢者を無事に目的地へお届けする、その気持ちを強くお持ちの方に運転をお願いしたいと思います。

【質問】 頑張って長く続けられるコツを教えてください

【回答】 設立してやっと2年経過しました。これからさらに5年10年と続けていくために、私たちがこれから何をすべきか、模索する日々です。活動者自身に「強制しない」「無理をしない」のも大切にしています。

【質問】 実践メニューのまとめたいものがあれば欲しい

【回答】 会の設立時には社会福祉協議会のSCさんに大変お世話になりました。
その後の活動・運用は、賛助会員さんからのご依頼に対して、対応できるかどうかを正会員の合議により決定し、実行していく状況です。マニュアル作りはこれからの課題です。

【質問】 売り上げはどのように使われるのでしょうか？

【回答】 現在は外出支援で自家用車を使用した際の走行距離に応じたガソリン代を補助しています。
その他は活動に伴う備品や事務消耗品、ボランティア保険などに使用し、残金は積み立てています。

【質問】 運転者は何人おられますか？

【回答】 現在、正会員が7名で、そのうち運転者は6名です。

【質問】 車両はどんな車ですか？

【回答】 正会員の所有している自家用車（軽自動車～乗用車）を使っています。

【質問】 利用頻度はどのくらいですか？

【回答】 現在、25名の賛助会員がおられますが頻度は様々です。月1～2回の方から週1～2回の方も。

【質問】 草引きなど、できる出来ないの線引きは？

【回答】 賛助会員さんからのご依頼に対して、必ず現場を事前調査して対応可能かをチェックしており、不安全な作業（高所作業）や、特殊な技能（松の剪定など）のケースはお断りします。

【質問】 送迎の待ち時間はどうなるのでしょうか？

【回答】 おおむね半径5キロ以内、または片道20分以内の距離を往路にお手伝い券1枚、復路で1枚です。
待機時間はカウントしていません。1時間以内で要件が済んだ場合はチケット1枚のケースもあります。

【質問】 誰が中心になって動いているのですか？

【回答】 会長職がまとめ役で、正会員全員の合議で動いています。

【質問】 遠くへ行きたい、長時間などご要望の場合は？運用上の細かなルールは開始前から決めていた？

【回答】 おおむね半径5キロ以内、または片道20分程度の距離を外出支援可能な範囲と決めています。
また、有償ボランティアとして概ね1時間以内のお手伝いに対してお手伝い券1枚（500円）を受領するなど、活動開始前から決めていました。

【質問】 ボランティア精神をどのように培っていけばよいですか？考えていますがなかなか勇気が出ません。

【回答】 世の中のため、人様のためにお手伝い出来ることが何かないだろうか？
そんな気持ちを素直に出しましょう。 思い立ったが吉日ですよ。